

Osamu Kouchi
幸地 修

Cheng Qian
程 鈺

Erika Fujita
藤田 えりか

じぶん
自分
から
自分
じぶん

広島市立大学芸術学研究所修士2年グループ展

2021. 4/22 Thu. ~
2021. 4/25 Sun.

12:00~17:00(最終日のみ12:00~15:00)

Unité

コロナ禍で発生した「自粛する」という行為はコロナ禍以前の世界における多種多様な繋がり**の強さ**を実感させたのではないのでしょうか。そして、その繋がり**が氾濫**する世界で明確に個人＝「自分」を意識してきたかという疑問から、今回の展示では「自分」をテーマにした作品を発表します。自粛期間は自分との関係を築く時間が与えられた期間でもあり、「自分と向き合う時間」の中で生まれた考察や出来事を基に作品を制作しました。この作品展が私達3人の作品をきっかけに新たな繋がりを作る場となることを期待します。

程 鈺 (テイ セン・Cheng Qian)

1996年上海生まれ、広島市立大学大学院在学。人体部位のカタチを取る立体作品、コンセプトチュアルまたはインタラクティブ作品などを作っている。マイノリティーの生存関係、ジェンダー問題などを中心に反強権主義的な意識を持って制作し続けている。主な展覧会に、「Achromic New City」「カナリアがさえずりを止めるとき」など。



《可》2020

幸地 修 (こうち おさむ)

1997年、沖縄出身、広島市立大学大学院在学。人形制作や町歩きの記録などを中心に作品を作っている。理想と現実、あるべき姿と実態の間を揺れながら「人の形」の探求をしている。



《ニンギョウ ヒトガタ》2019

藤田 えりか (ふじた えりか)

1993年生まれ。広島市立大学大学院在学。自分を取り巻く環境からモチーフを抽出して作品化する。2016年までコンビニをテーマに写真作品を制作。その後3年間は民間企業に勤め、2020年に大学院へ入学。現在は労働と消費をテーマにした作品に取り組む。



《オアシス》2015

「自分から自分」

2021年4月22日(木)～4月25日(日)

12:00-17:00 (最終日のみ15:00まで)

入場無料

会場

「Unité (ユニテ)」

広島市中区基町16-17-108



【バス】

広島バス23号線及び23-1号線横県線

横川駅より基町ショッピングセンター前下車、徒歩約5分

八丁堀方面より基町小学校前バス停下車、徒歩約3分

【電車】

JR新白島駅南口改札より徒歩約15分

【アストラムライン】

アストラムライン城北駅より徒歩約10分

